

「立山カルデラ砂防事業現場見学会」 行われる！！



○見学会概要

立山カルデラ内で砂防工事に従事している「お父さんやお爺さん・お兄さん」のご家族を招いて、砂防工事の最前線である現場を見学しました。人里離れた厳しい現場、また、家族と離れて泊まり込みで「コンクリートで出来た大きな砂防堰堤をどうして造るのか」「今にも崩れそうな急な斜面を緑に復元する工事をなぜ行うのか」等、今回の見学会を通して、富山平野の安全を守っていることを体感した貴重な機会となりました。

今回は、砂防工事に従事される皆さんの励みとなるよう、参加されたご家族の皆さんには、記念タイルを製作してもらい、作業員の皆さんが疲れを癒やすために立ち寄る水飲み場(天涯の水)に家族のそれぞれの思いが刻まれた記念のタイルが刻み込まれました。

普段は厳しい環境にあって、常に緊張感の張り詰めた工事現場も家族の笑顔に包まれた穏やかな一日となりました。

主催：※水谷推進協力会（協力：立山砂防事務所）

参加者：51名

※水谷推進協力会：水谷出張所管内で工事を受注した各受注者間の連絡調整、生活改善及び各受注者間の親睦を目的として毎年設置



まずは立山カルデラ砂防博物館で砂防の勉強から



記念にタイル作り！何が出来るかな？



1969年に新たに出来た「六九谷」目の前には霧山崩れが



こんな機械を動かしているんだお父さんかっこいい！



18段のスイッチバックは長かった・・・水谷出張所に到着



重要文化財「白岩砂防堰堤」高さ108mは凄い！



こんな大きなトラックもあるんだ！

最後は記念撮影！良い思い出になったかな？

